

## 【17】柔道競技

1 期 日 2022年8月28日（日）1日間

種 別	8月28日（日）
少年男子	各府県総当たりリーグ戦
女 子	

2 会 場 京都市武道センター主競技場  
〒606-8323 京都市左京区聖護院円頓美町46-2 TEL 075-751-1255

### 3 種別及び参加人員

種 別	本大会出場府県数	監 督	選 手	参加府県数	小 計	合 計
少年男子	3	1	5	6	36	72
女 子	3	1	5	6	36	

※成年選手は監督を兼任することができる。

### 4 競技上の規定及び方法

- (1) 各種別とも府県対抗、得点試合、総当たりリーグ戦を実施する。
- (2) 試合は、最新の国際柔道連盟試合審判規定で行い、試合時間はすべて4分間とする。
  - ア 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の間に技による評価（技あり）がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
  - イ 府県対抗の勝敗決定方法
    - (ア) 勝者数（「一本勝ち」「優勢勝ち」等を問わない）の多いチームを勝ちとする。
    - (イ) (ア)で同等の場合は、「一本勝ち」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。  
\*この場合「不戦勝ち」「棄権勝ち」「反則勝ち」も「一本勝ち」と同等に扱う。
    - (ウ) (イ)で同等の場合は、「技あり」による勝利数の多いチームを勝ちとする。
    - (エ) 内容が同等の場合は、引き分けとする。
  - ウ 府県対抗順位決定方法
    - (ア) 勝ち数の多いチームを上位とする。
    - (イ) (ア)の内容が同じ場合には、チームの負け数の少ない方を上位とする。
    - (ウ) (イ)の内容が同じ場合には、全試合を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
    - (エ) (ウ)の内容が同じ場合には、「一本勝ち」相当の勝者数の多いチームを上位とする。
    - (オ) (エ)の内容が同じ場合には、「技あり勝ち」の勝者数の多いチームを上位とする。
    - (カ) (オ)の内容が同じ場合には、全試合を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
    - (キ) (カ)の内容が同じ場合には、「一本負け」相当の少ないチームを上位とする。
    - (ク) (キ)の内容が同じ場合には、「技あり負け」の少ないチームを上位とする。
    - (ケ) (ク)の内容が同じ場合には、リーグ戦で対象となるチーム間で勝敗がついている場合は、勝ちチームを上位とする。
    - (コ) リーグ戦で引き分けの場合は、「引き分け」であった対戦の中から抽選で1組を選び、時間無制限のゴールデンスコア方式の代表戦により勝敗を決する。（先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。）
- (3) 参加申込の選手が負傷等のため参加不能の場合は、他の選手をもって代えることができる。ただし、2022年8月25日（木）午後4時までに、京都府柔道連盟事務局に所定の手続きを完了した者に限る。それ以降は棄権とする。また、チーム3名以上の棄権者が出た場合は、それ以降の試合を不戦敗とする。なお、不戦敗チームのそれまでの戦績は有効とする。

- (4) 柔道衣は、全柔連柔道衣規格（2015年4月1日改正）に適合した柔道衣（上衣、下穿はIJF赤ラベル及び「JU」から始まる赤文字のみ可、帯はIJF赤、青ラベル及び「JU」から始まる赤文字、黒文字全て可）とする。
- (5) 柔道衣（背中）には、必ず下記の要領で所属府県名と苗字（姓）を明示したゼッケンを縫いつける。（ゼッケンの重ね縫いは禁止する。）

図1 ゼッケンの縫い付け方

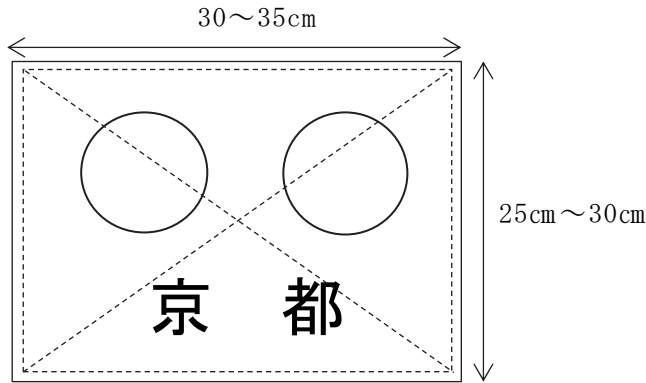
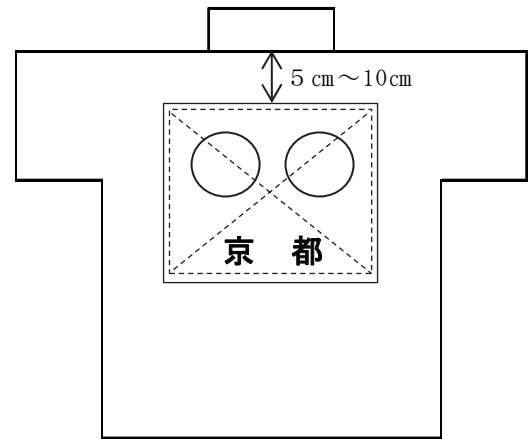


図2 ゼッケンの位置



- ① 図1の ----- の部分を強い糸で縫い付けること。（縦横並びに対角線）
- ② 図2のとおり、後ろ襟から5~10cm下部にゼッケンを縫いつけること。
- ③ 苗字（姓）は上部2/3、府県名は下部1/3に記載すること。
- ④ 書体は、太いゴシック体（または楷書体）、男子は黒色、女子は濃赤色とする。
- ⑤ サイズは縦25~30cm、横30~35cmとする。

## 5 参加資格、所属府県及び選手の年齢基準

第77回国民体育大会参加資格、所属府県及び選手の年齢基準によるもののほか、次による。

- (1) 参加選手の段位は、講道館の段位による。
- (2) 選手の配列順位

### ア 少年男子

選手は、先鋒(体重60kg以下の者)、次鋒(体重60kgを超え73kg以下の者)、中堅(体重73kgを超え90kg以下の者)、副将(体重90kgを超え100kg以下の者)、大将(体重無差別の者)の順に配列すること。

### イ 女子

選手は、先鋒(体重52kg以下の少年)、次鋒(体重57kg以下の成年)、中堅(体重52kgを超え63kg以下の少年)、副将(体重63kgを超え78kg以下の少年)、大将(体重無差別の成年)の順に配列すること。

ただし、出場府県の実情に応じて次鋒、大将のいずれかを少年種別年齢域の者とする事ができる。

- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認柔道コーチ1（旧公認柔道指導員）、公認柔道コーチ2（旧公認柔道上級指導員）、公認柔道コーチ3（旧公認柔道コーチ）、公認柔道コーチ4（旧公認柔道上級コーチ）の何れかの資格を有し、かつ公益財団法人全日本柔道連盟公認柔道指導者資格制度に基づく、AまたはB指導員資格を有する者。
- (4) 選手は下記の計量（公式計量では、計量器に1回限り上がることができる）に合格すること。ただし、大将（体重無差別）として出場する選手は計量を行わない。

## 6 開始式

日時 2022年8月28日(日) 10時30分  
会場 京都市武道センター主競技場

## 7 その他

### (1) 審判・監督会議

日 時 2022年8月28日(日) 10時00分～10時20分

場 所 京都市武道センター第1会議室

### (2) 計量

日 時 2022年8月27日(土)

非公式計量：15時30分～16時00分

公式計量：16時00分～16時30分

場 所 京都市武道センター補助競技場(女子選手は第2会議室)

TEL 075-751-1255

京都市左京区聖護院円頓美町46-2

(地下鉄東西線東山駅下車徒歩約15分)

(京阪神宮丸太町駅徒歩約15分)

### (3) 審判員の派遣

各府県・学柔連・高体連は、審判員名を下記宛報告すること。(別途事務連絡)  
原則として、Aライセンスの保持者とする。

〒601-8047 京都府柔道連盟事務局

第77回国民体育大会近畿ブロック大会係

事務局長 吉田 進

TEL 075-644-6235 FAX 075-644-6235